



武吉廣和の  
縄文土器  
研究所

この企画は、小学校の総合体験学習の授業のひとつとして提案されました。  
その内容は、西暦2003年に発掘された香美市の刈谷我野遺跡の尖底土器(センチドキ)を復元し、縄文早期(約8000年前)の料理を楽しもうというものです。  
授業は間をおいての3日間、「土器づくり」、「焼成」、「料理」でした。  
会場に展示されている写真はその授業風景で6年生の担任である正岡美砂教諭の撮影によるものです。  
展示されている、煮炊きに使用した尖底土器は14個です。  
未使用の1個は制作後、焼成前の乾燥のときに事故でこわれたものです、6ミリという器壁の厚さがわかります、生徒は代用の尖底土器を使用しました。  
おわんのかたちの土器15個も生徒たちが実際に料理を食べるときに使われたものです。  
使用した食材はイノシシの肉、鹿の肉、山芋とマテバシイを半分ずつこねたどんぐり団子、海水と煮詰めて干したはまぐり、しいたけ、せり、みつば、のびる。  
ナイフとして使用した石器は頁岩とサヌカイト。  
土器の胎土は田村遺跡住居跡(C区)から出土した白い粘土塊(20キロ程だったか)と同じもの、四万十町六反地(縄文遺跡あり)のAT火山灰由来と思われるチョコレート色の粘土との2種類を中心に組み立てました。水漏れをおさえるため混和材の四万十川の川砂は1割程と、極力少なくしました。

遺跡の重要性を知らせる「新聞記事」、大きな予算と熱意と長い時間をかけ完成した「刈谷我野遺跡発掘報告書」それを読み解き、活用し、「こどもたちの楽しい授業」として結実する。  
このような取り組みが、さらなる教育の発展へとつながることでしょう。  
今回の企画に協力してくださった香美市教育委員会、高知県立埋蔵文化財センター、高知県立歴史民俗資料館、高知県立牧野植物園、高知新聞社をはじめ報道各社に感謝いたします。

須崎市立横波小学校  
武吉廣和の縄文土器研究所

# 須崎市立横浪小学校6年生15人の 縄文土器づくり展

## 刈谷我野(カリヤガノ)遺跡の土器復元

縄文早期(約8000年前)の尖底土器づくりから、縄文料理を楽しむまで。



期間：西暦2009年1月2日(金)～31日(土) AM9:00～PM5:00

場所：高知県立歴史民俗資料館1階フリースペース(入場無料)  
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1  
TEL/088-862-2211 FAX/088-862-2110

企画：武吉廣和

主催：須崎市立横浪小学校・武吉廣和の縄文土器研究所

後援：高知県立歴史民俗資料館・高知県立埋蔵文化財センター

KSSさんさんテレビ・KUTVテレビ高知・RKC高知放送

高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局

武吉廣和の縄文土器研究所／〒786-0097高知県高岡郡四万十町日野地326

TEL&FAX 0880-23-0054 or 088-864-1504

[ 陶芸家 武吉廣和 <http://www1.ocn.ne.jp/~takeyosi/> ]